

つながりの中でくらす
望まれた人として生きる
自分らしく生きていく



No. 73

2022 年 8 月発行

〒535-0021 大阪市旭区清水 2-16-22 Tel.06-6953-2665 fax06-6953-2655 E-mail houpu@r.river.sannet.ne.jp

2021 年度事業報告

2021 年度は、障害児相談支援事業、障害児通所支援事業（放課後等デイサービス）、障害児者の自立に向けた支援事業、子育て・子育て支援事業、社会教育事業（各種講座・セミナーの開催、人材育成等）、まちづくりの推進事業を継続した。また、法人事務所兼事業所の建て替えを行い、11月に新事務所へ移転し、障害者のためのシェアハウスの開設、管理及び運営事業を開始した。

（1）児童福祉法に基づく障害児相談支援事業

子どもの最善の利益と子どもと家族の生活を大切に、子どもが将来、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう相談支援を行った。事業所の建て替えのため新規ケースの受け入れが困難な月があったが、利用者等の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、情報の提供を行い、関係機関との連携を図りながら相談援助を行った。

（2）児童福祉法に基づく障害児通所支援事業（放課後等デイサービス）

2021 年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続き、休校措置をとる学校が続出し、子どももご家族も当事業所も対応に追われる日々であったが、子どもの成長にとって必要な活動に、感染症対策を行いながら前向きに取り組んだ。11月の新事業所への移転後は、子どもたちは広い場所でのびのびと過ごすことができ、ボランティアの受け入れや地域住民との交流を図るイベントを再開することができた。定期的な支援計画の見直しとケース会議を継続し、それぞれの子どもの計画に基づいて支援を行った。平日の活動では、学習と遊びを丁寧に積み重ね、創作活動や公園遊びを多く行った。休日の活動では、大学生との音楽活動と、グループワークの活動が子どもたちの中に定着して、活動内容が充実してきた。季節を楽しむことができる工夫をして創作活動に取り組んだり、感染拡大が収まっている時期にはクッキングやお菓子作りを行ったり、大きな公園や河川敷まで遠足に出かけたり、お楽しみ会を開いたりして、子どもたちは体験を広げることができた。避難訓練に合わせて地域清掃活動を行ったり、新施設のお披露目コンサートを開いたり、しごと体験の一環として商店を開いたりして、地域住民との交流も図ることができた。

当法人独自の「ワタシ×ミライ ワークショップ(こどもからはじめる個人将来計画)」は、感染症防止を考慮し形式を変えて開催することで、継続して関係機関との連携をとることができた。「こども ILP(自立生活プログラムこども版)」の実践は、学生ボランティアの協力を得て、夏休み期間中には「衣」をテーマにエコバック作りを行い、お披露目セレモニーを開催して、子どもたちの社会生活体験を広げることができた。

利用者の満足度調査を実施し、ホームページや法人会報に結果を掲載し、運営や支援内容の検討・改善を行った。職員ミーティングやアルバイト職員の振り返りを日々行った。調査結果や振り返りを職員間で共有し、事業所内での研修や外部研修の実施により、支援内容の充実と職員の質の向上を図ることができた。

(3) 障害児者の自立に向けた支援事業

旭区地域自立支援協議会に参画し、地域の障害者福祉の推進を行った。地域自立支援協議会の本会、こども部会、相談部会の定例会に参加して、障害児者の地域生活を支援するための活動に取り組んだ。本会では防災の取り組みについての意見交換を行い、「なごんで座談会」の開催に協力した。「なごんで座談会」で出た意見は、障害児者の災害時の課題として、今後の取り組みに活かしていくことができる。こども部会では、恒例となっている「就学進学なんでも相談会」を区内の小学校で開催した。緊急事態宣言のため、全小学校で開催することはできなかったが、相談員として協力し、障害児の家族の悩みを共有したり、将来に向けた情報を提供したりして、保護者への支援を行うことができた。また、教育と医療と福祉との連携についての意見交換と研修会を開催し、区内の教育と医療と福祉の連携をすすめることができた。また、子どものしごと体験と地域交流をはかるため、「ほうぷ商店」を1日開店し、駄菓子や雑貨などの販売を行った。

(4) 子育て・子育て支援事業

「旭区子育て安心ネットワーク」の定例会(事務局:旭区役所)や、「あさひの輪」の定例会(事務局:旭区社会福祉協議会)の参加など、区内の子育て支援関係の定例会に参加し、区内の子育て関連施設と連携して子育て支援の充実に向けての話し合いを行うことができた。また、「清水地域子育てボランティアグループ」の定例会に参画し、地域に密着した子育て支援に取り組むことができた。大阪市の「ブックスタート」事業を2回開催し、乳児とその保護者が絵本と出会い、地域とつながる場を提供することができた。

(5) まちづくりの推進事業

地域活動協議会の会議に参加し、「清水フェスティバル」の開催に向けて話し合いを行ったが、新型コロナ感染拡大により開催が中止となった。

(6) 社会教育事業(各種講座・セミナーの開催、人材育成等)

新型コロナ感染拡大により、セミナーの開催などを実施することができなかったが、今年度より、大学生の実習受け入れを開始した。社会福祉士養成課程の一環として「ソーシャルワーク基礎実習」を行い、2名の大学生を受け入れた。地域連携についても学んでもらい、地域の様々な機関や主任児童委員・民生委員に協力をしていただいたことで、地域とのつながりも深め、地域啓発も図ることができた。

(7) 地域福祉の推進に関する調査、研究事業

全国児童発達支援協議会実施の「児童発達支援・放課後等デイサービスの指標の在り方に関する研究」に当法人理事長が協力員となり、指標判定項目案会議に参加し、大阪チーム協力員の方々と意見交換を行った。他の協力員の方々と出会って意見を聞き、発達の捉え方を放課後等デイサービスの職員と共有するなど、放課後等デイサービスの支援に役立てることができた。

(8) 障害者のためのシェアハウスの開設、管理及び運営事業

新事務所の2階でシェアハウスを開設した。12月より2名の障害者が生活を始めた。新規事業であるため、一緒に生活する上での約束事等を入居者の方々と決めている段階だが、今後、個人将来計画ワークショップを開催するなどして、入居者が自分らしく暮らしていくことができるよう支援する。

子育て子育て支援事業

～ おやこ ひろば ほうぶ ～



今年度より、「子育て子育て支援事業」として、法人社員によるボランティア活動「おやこ ひろば ほうぶ」を開催しています。今年度は、偶数月の第三日曜日に開催することにしました。4月は、広く周知をすることが難しかったので、第1回スペシャル企画として「ダウンちゃん集まれー」を開催しました。

第1回 ダウンちゃん集まれー

2022年4月24日(日) 10:30～12:00 参加者：ダウン症児とその家族9組
2歳から10歳のダウンちゃんのご家族が集まってくださり、20代のダウン症の女性に体験談を話していただき、その後、法人社員も加わり質疑応答をしました。なんとなくでも将来に希望を感じ、前向きに日々を過ごすことができればと思います。

第2回 助産師さんとあ・そ・ほ

2022年6月19日(日) 10:30～12:00 参加者：親子2組
0歳と1歳の親子さんが参加してくださいました。手遊び、ベビーマッサージ、お母さんのリラックスタイム、読み聞かせのプログラムで実施しました。親子でゆったりとした時間を過ごしていただけたと思います。

次回 第3回 保育士さんとあ・そ・ほ 8月21日(日) 10:30～

ハンカチやタオル、折り紙などで作って遊ぼう！

暮らしの中で役立つものを作って、SDGSについて考えてみよう！



法人の取り組み報告

虐待防止委員会

今年3月に第1回虐待防止委員会を開催しました。今年度より、3か月に1回開催していきます。委員は、管理者、事業の責任者である職員2名、法人社員より1名、外部委員として、家族の代表、法人運営委員会より1名の体制です。委員会の役割は、虐待防止のための取り組みで、研修の企画、職場環境の改善、マニュアルやチェックリストの作成、労働条件の確認や見直しなど虐待防止の計画づくりと、現場の課題報告、苦情相談の報告などのチェックとモニタリング、虐待が発生した際の検証や防止策の検討などです。第1回、2回は、研修の報告やひやりはっとの報告を行って、委員の皆さんから様々ご意見をいただきました。他事業所の取り組みを教えていただいたり、保護者のご意見をいただいたりしながら、法人として支援の質の向上を目指していきたいと考えています。

放課後等デイサービス「楽童ほうば」報告

コロナ感染が少し落ち着き、いろいろな活動に取り組むことができた1学期でしたが、夏休み直前に、「第7波」といわれる爆発的な感染拡大がきてしまいました。夏休み中、子どもたちがストレスを溜めないよう、活動内容を工夫して楽しい夏休みにしたいと思っています。酷暑の毎日、ほうば前のオーニングの下で水遊びをしたり、感覚統合遊具で遊んだり、蝉取りに夢中になったりと毎日しっかり遊んでいます。宿題もがんばってね！

5月には府立高校知的障害生徒自立支援コース3年のAさん、7月に市立中学校1年生のBさんの「ワタシ×ミライワークショップ」を開催しました。障害当事者や学校の教員の方々も参加してくださり、楽しいひと時になりました。Bさんのお母さんが我が子の長所をたくさん挙げられて、とても素敵だと思いました。Aさんは、「あいさつ」一つで、こんなにも人と繋がれるのだと改めて感動してしまいました。高校卒業後もたくさんのつながりを作り続けて欲しいと思います。

いきいきとした子どもたちに励まされる一方で、感染対策のための支出増や職員の作業量増が続いています。行政の支援は少ないのに、感染防止対策をしていれば職員は濃厚接触者にはならないとされ、ひたすら頑張って運営しなさいと言われていたような状況です。なんだかなーとため息も出ますが、子どもの笑顔に力をもらって頑張るしかありません。

グループワーク

4月16日(土) 参加者：子ども10名
5月14日(土) 参加者：子ども11名
6月11日(土) 参加者：子ども10名
7月30日(土) 参加者：子ども11名



小学生が増えてきたこともあり、好きなおやつ、好きな触感、夏の遊びやお祭りの屋台で好きなもの、自分が読んでほしい名前（愛称）など、写真を見たり実際に触って感じたりパネルを使ったりしながら、話が苦手な子どもも発表できるテーマを設定してトーキングサークルを行いました。今日の気持ちの発表は、少し慣れてきたようです。トーキングサークルの前後に、手遊び歌、読み聞かせ、クイズなどを入れて、子どもたちがリラックスしたり集中したりしながら楽しく参加できるようにしています。今後、一人ひとりの性格や興味関心、そして、自分自身についても気づくことができるようなテーマ設定も工夫していきたいと考えています。



大学生ボランティアによる音楽会



4月 9日（土） 参加者：子ども 9名 ボランティア3名
 5月 7日（土） 参加者：子ども11名 ボランティア4名
 6月25日（土） 参加者：子ども10名 ボランティア3名
 7月 9日（土） 参加者：子ども 9名 ボランティア4名
 7月23日（土） 参加者：子ども 7名 実習生4名

武庫川女子大学音楽学部の学生ボランティアと、千里金蘭大学の音楽療育の実習生による音楽会を開催しました。こどもはみんな音楽が好き、なんてことはありません。音が苦手な子どもたちもいます。でも、子どもたちは嬉しそうにお姉さんたちと関わっています。大学生の皆さんは、時間をかけて工夫したプログラムを実践し、いい振り返りをして给我们しています。武庫川女子大の4回生の学生さんたちは、7月で音楽ボランティア卒業とのこと。寂しいですが、ほうぶでの体験が心のどこかに残ってくると幸いです。



春の遠足 ～城北公園～

4月23日（土） 参加者：子ども12名 ボランティア7名

バスに乗って城北公園に行きました。久しぶりに公共交通機関を使う練習ができました。一度に大勢の子どもがシティバスに乗っては他の乗客の迷惑になるので、3グループに分かれて乗車しました。公共交通機関利用の練習は、お金を払って乗ることだけではありません。車中でのマナーも大切な勉強です。「初めてのボランティア」の学生も多く、子どもも学生も一緒に学習した一日になりました。



第2回 ほうぶ商店

5月21日(土) 参加者：子ども14名 ボランティア6名

3月に続き、紙芝居と駄菓子屋さんをセットにした「ほうぶ商店」の2回目を開催しました。今回は、駄菓子に加えて、子どもたちの作品と知り合いの生活介護事業所で作成された商品の販売もしました。商品袋は子どもたちがデザインしました。近所の公園や商店街にチラシを配りに行きました。商店は大盛況。急きょ、お向かいのお家の駐車場を自転車置き場として貸していただきました。ご近所の方もお孫さんと一緒に来てくださいました。小学校の先生方も来てくださいました。いろんな人に見守られていることに感謝です。



閉店前には
読み聞かせ



救命練習

5月28日(土) 参加者：子ども13名

消防士さんに救命方法を教えてもらいました。心臓マッサージの実技訓練やAEDの練習をグループごとに行いました。お話を聞いて、消防車も見せてもらいました。本物の消防士さんに会えて子どもたちは大興奮でした。



テラスカフェほうぶ オープン！

2022年6月18日(土) 参加者：子ども12名 ボランティア7名

コロナ禍で休止していた「カフェほうぶ」。春には感染状況も少し落ち着き、建て替えをしてテラスができたので、久しぶりにカフェを開店しました。メニューは飲み物のみにしました。近隣の就労継続支援B型事業所の袋入りクッキーと、町内のコーヒーが美味しいカフェのアイスコーヒーを仕入れ、宣伝ポップを掲示して地域連携も行いました。子どもたちが作った作品も販売しました。近隣の方々、小学生や先生、保護者など、いろいろな方が来てくださいました。子どもたちも「働く」体験をすることができました。



サマーフェスティバル

2022年7月16日(土) 参加者：子ども13名 ボランティア8名

コロナ禍で千林商店街の夏まつりは中止になり、老人クラブの方々に浴衣の着付けのお手伝いをお願いするのも遠慮して、「浴衣を着てお祭りに行こう」のイベントが開催できずにいました。今年は6月末から猛暑だったので、暑さを吹き飛ばすようなお祭りを体験してほしいと、サマーフェスティバルを企画しました。子どもたちは、スーパーボールすくい、ヨーヨー釣り、射的のコーナーを順に回り、お祭りの雰囲気を楽しみました。残念ながら、浴衣の着付け企画はできませんでしたが、自宅から着て来る子どももいました。天井に提灯をぶら下げて、お祭りの雰囲気を出しました。ボランティアがたくさん参加してくれ、楽しいひと時を一緒に作ってくれました。



●地域活動報告●

- | | |
|----------|---|
| 4月18日(月) | NPO 法人 WING 路をはこぶ新人研修で講師 |
| 4月20日(水) | 旭区地域自立支援協議会 相談支援部会 |
| 4月21日(木) | 千里金蘭大学でゲストスピーカー |
| 4月24日(日) | おやこひろば ほうぶ「ダウンちゃん集まれー」 |
| 5月13日(金) | 大阪公立大学の人権の授業でゲストスピーカー |
| ～14日(土) | 千里金蘭大学 音楽療育実習の受け入れ |
| 5月17日(火) | 清水地域子育てボランティアグループ会議 |
| 5月18日(水) | 旭区地域自立支援協議会 本会定例会 |
| 5月20、21日 | 千里金蘭大学 音楽療育実習受け入れ |
| 5月30日(月) | 清水地域活動協議会 総会 |
| 6月1日～ | 旭区地域自立支援協議会 こども部会主催「就学進学なんでも相談会」に |
| 7月30日 | 相談員として7回参加(区内10小学校と区役所にて、計11回開催し
29組の方々が相談に来られました) |
| 6月3日(金) | あさひの輪(旭区子育て支援団体の集まり) 定例会 |
| 6月14日(火) | 関西大学 社会学部内田ゼミフィールドワークの受け入れ |
| 6月15日(水) | 旭区地域自立支援協議会 相談支援部会 |
| 6月19日(日) | おやこひろば ほうぶ(第2回)「助産師さんと遊ぼう①」 |
| 6月22日(水) | 旭区事業所連絡会(児童) |
| 6月26日(日) | 子ども情報研究センター 総会 |
| 6月28日(火) | 旭区地域自立支援協議会 こども部会
清水地域活動協議会 地域福祉部会 |

- 7月10日(日) 大阪社会福祉士会 基礎研修会の手伝い
7月12日(火) ブックスタート開催(3組の親子さんの参加がありました)
*今年度は奇数月の第2火曜日に開催予定です
7月19日(火) 清水地域活動協議会会議
7月19・23日 千里金蘭大学 音楽療育実習受け入れ
7月20日(水) 旭区地域自立支援協議会本会定例会

ほうぶは、地域に開かれた場所、地域住民の居場所になりたいと思っています。新施設になり、ほうぶ商店やテラスカフェほうぶ、音楽会など地域の方々に来ていただけるイベントの開催を行っています。平日も、近所の子どもがやってきて一緒に勉強したり遊んだりすることもあります。本当に居場所が必要な人の場となるために今年度は地域のニーズ調査を行っていきたいと思います。

コロナ感染がおさまりません。酷暑も続きます。

みなさま、くれぐれも体調に気をつけてお過ごしください。

